



亀中だより

No.39 令和5年1月27日 文責:岡田



For The Students!

大雪警報発令！臨時休校措置

～早朝から生徒登校に備え、自発的に雪かきをする教職員～

1月25日、この冬一番の寒気が流れ込み、前夜から吹雪は、記憶の中でもないような積雪となりました。10年に一度との触れ込みは大げさではなく、足首が埋まるほどの積雪があり、登下校時の安全を優先して臨時休校とさせていただきます。みなさまの朝の忙しい時間に少しでも負担にならないよう、早めにご連絡させていただいたつもりでおりますが、保護者のみなさまには早朝よりのご対応をいただいたことと思います。ありがとうございました。

早朝、学校に到着してみると、校庭から多聞櫓を写した右の写真のように、日常の色彩を奪い取られ、モノトーンの世界が広がっていました。



この日、私は休校をなかば覚悟しつつ、七時半ごろ学校へ到着しました。私が学校についたときには、すでに何人かの職員が、校門の雪かきをしていていました。早い職員は7時前に出勤してくれていたということです。(登校してきてしまった生徒も手伝ってくれました。)

実は職員にも3限からの授業に間に合えばよいので、安全を最優先に出勤をするよう連絡をしていました。それにもかかわらず、この雪の中を登校してくる生徒のために、早出して、校門、駐車場の雪かき、融雪剤の散布などを自主的にしてくれていたのです。



その後出勤してくる職員は、次々に整備、電話対応に自ら動いてくれました。今の亀山中学校の職員は、誰もが生徒のことが大好きであり、そのための労力を惜しみません。雪による危険、心配もありましたが、このような職員に支えられている学校を誇らしく感じる一日でした。



融雪剤散布後の整備された校門・駐車場です。